



晴れた青空の5月1日、大阪市北区の扇町公園で第79回大阪メーデーが開催されました。「働く者の団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」のメインスローガンを掲げて1万人の労働者が集まりました。メーデー宣言は非正規労働者の青年が「働く仲間が元氣のできる社会をつくる」と呼びかけました。横断幕、プラカード、風船には、大阪府政改革、後期高齢者医療制度、貧困と格差の解消、米軍基地の再編・強化反対を訴えるものが目立ちました。大阪府下の15カ所でも地域メーデーが開かれ1万人が集まりました。

## 第79回大阪メーデー

# 平和と暮らしを守る



今年のメーデーでは、憲法9条を守るとりくみや、大阪府の「橋下改憲」に声をあげるものが多くありました

五月晴れのメーデーに大阪自治労連のアドバルーンが高くあがっていました



おもしろい法律と地方自治自治労連

## 日時だよ! 全員集合

2008年夏季闘争期のとりくみ&行事

- 5月17日(土) 大阪自治労連第18回囲碁将棋大会(大阪グリーン会館)
- 5月18日(日) みんなで保育を考える集会(大阪経済大学)
- 5月23日(金) 大阪府の財政再建試案を考える府民共同集会(府立青少年会館)
- 5月24日(土) 「2008市民憲法講座」第2講座(大阪国会会館)
- 5月30日(金) 公務労組連・自治労連2008夏季闘争第1次中央行動(東京)
- 6月6日(金) 日本機関紙協会大阪府本部第60回定期総会(大阪機関紙会館)
- 6月6日(金)~7日(土) 自治労連第11期中央労働学校(東京)
- 6月9日(月) 第20回大阪自治労連軟式野球大会(万博公園スポーツ広場)
- 6月12日(木) 第20回大阪自治労連軟式野球大会(万博公園スポーツ広場)
- 6月14日(土) 大阪自治労連青年部新採歓迎パーティー(WTCコスモホール)
- 6月15日(日) 自治労連近畿ブロック第15回囲碁将棋大会(大阪グリーン会館)
- 6月30日(月) 2008年国民平和大行進大阪入り(7月7日まで大阪府下を行進)
- 7月1日(火)~2日(水) 自治労連近畿ブロック第15回囲碁将棋大会(京都府宇治市・城陽市)
- 7月11日(金)~12日(土) 自治労連第15回囲碁将棋大会(神奈川県湯河原町)
- 7月17日(木) 公務労組連・自治労連2008年夏季闘争第2次中央行動(東京)

## 「医・良フォーラムin河南」に医療関係者や住民ら200人

南河内地域の医療について発言する4人のパネラー



## みんなで考えよう! 南河内の地域医療と病院問題

「いま地域医療はどうなっている



基調講演の松本久さん

の?」「救急医療は大丈夫?」住民や医療関係者らの不安や思いが大きくなってきているいま、4月27日に、藤井寺市民会館で、「医・良フォーラムin河南」がひらかれ、医療関係者や住民ら200人が参加しました。このフォーラムは、大阪自治労連の中河内・河南地区協議会が主催したもので、「住民と医療関係者で、南河内地域の医療と病院問題を考えよ

う」という趣旨で行われたものです。看護師・医師不足問題は最大の医療問題

基調講演の松本久さん(堺市・耳原総合病院院長)は「いま急病で倒れても、地域によって命がどうなるのかわからない事態になっている。全国で勤務医不足による診療科目や病院の廃止が続出している。看護師、医師不足が日本の最大の医療問題だ」と、具体的な数字を示して語りました。

フォーラムでは医療現場と住民の立場から「救急搬送では、直近の病院から連絡をとっていく。大阪府の統計では、年45万人の救急搬送のうち、64%が軽症者だった。ぜひ救急車の適正利用を考えてほしい」(富田林市消防本部・救急担当者)、「平成11年から24時間体制で救急医療をおこなってきたが、平成16年で縮小。現在は9時~5時の診療に。38人の医師がいま27人。厚生労働省の言い

## BOOK ON

「町かど折々」高宮良子の描き歩き



著者 高宮良子  
発行 企画出版部  
定価 2860円(本体+税)

「毎日新聞」大阪版などに連載してきた絵と短文をこのほど1冊にまとめて出版したのが「町かど折々」。

まんがのタッチはいっけんゴチャゴチャしていますが線はしっかり、はっきりしています。とにかく単なる風景でなく、さまざまな人間が画面に登場するのが特徴です。そして、どの表情も、姿も生き生きと働く人間、生きている人間なのです。また、圧倒的なワイド感、広角カメラで切り取ったようなボリュームと奥行きが魅力です。描かれた場所に行ってみたくも思わず感じます。この冊子には47の町かどが描かれていますが、早くも続きの絵が見たいものです。全国を歩いて描いた絵は現在も「毎日新聞」大阪版などで連載中です。

なりでは日本の医療はどんどん悪くなる。しかし、やらないと経営がでない(公立病院事務局長)、「日々、安心して医療にかかれる地域医療を。地域の女性が安心してかかれる産科がほしい」(地域住民)、などの思いが語られました。